

# 【農山漁村地域整備交付金】地域用水環境整備事業（拡充）

○ 農業水利施設の適正な維持管理を確保するため、用水路の落差等を活用した小水力等発電施設の整備を促進。

## 背景／課題

### 課題

農業水利施設は、食料供給の基盤であるのみならず、洪水貯留、地域排水、地下水涵養等に寄与していますが、ポンプ運転等に必要の電力料金の値上げや施設の老朽化等によって維持管理費が増大傾向にあり、施設の適正な管理が困難となっています。

平成24年3月30日に閣議決定された土地改良長期計画では、農業水利施設の適正な維持管理を確保する観点から、「農業水利施設を活用した小水力発電等の導入に向けた計画作成を平成28年度までに約1,000地域で着手する」とされています。

これまでは、落差、流量の条件に恵まれた発電出力の規模も比較的大きな地点での発電が大宗でしたが、今後は、農業用水の小水力エネルギーを最大限活用する観点からは、低落差・小流量での小水力発電にも取り組み、多様な主体の参画を得て展開していくことが求められています。

### 解決

小水力発電施設の設置に係る経済性の検討を十分行い、採算性を確保することにより、売電収入を土地改良施設の電力料金等の維持管理費に充てる事が可能となります。

## 農業水利施設の包蔵力を活用した小水力発電の施設整備を推進

### 1. 施設整備

農業水利施設の包蔵力を活用した小水力発電のための施設整備（新設・更新）への支援を行います。

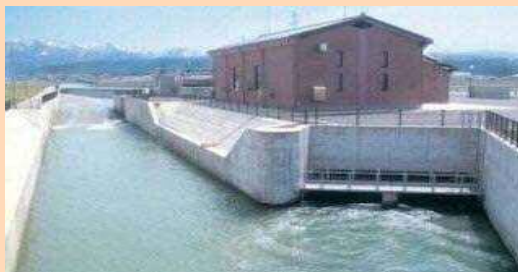
補助率：1/2以内等  
事業実施主体：都道府県、市町村、土地改良区等  
事業実施期間：平成21年度～

### 2. 導入支援〔拡充〕

小水力発電施設設置に係る経済性の検討への支援を行います。

下線は拡充内容

補助率：1/2以内  
事業実施主体：都道府県、市町村、土地改良区等  
事業実施期間：平成21年度～平成28年度



開水路の落差工を活用した小水力発電



農業用ダムの落差を活用した小水力発電



管路の圧力を活用した小水力発電

小水力発電導入により土地改良施設の維持管理費の軽減を図る。